特許協力条約

"苑借人 日本国特許庁 (国際子伽帯查機関)・

	山脈人作型人 安衛 小林 苗	4			
	かて名 〒 104-0028	7. 2. 2. 2. 2. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.		PC工兒解書	
	東京都中央区八届第2丁月8番7中 西国アル9路 図覧・井橋・市山井袋県路町	7.号		(法第13条) [PCT規則66]	
ţ			発送日 (日.月.年)	20.05.03	83
Ý.					
أأنعد	- 瀬人又は代理人 - 夕事類配号 P02-0149PCT	PCT	<b>石谷ガ</b> 园	上配発送日から	2 月本
	国際出版番号 PCT/JP02/13781	国際出版日 (日.月.年) 27.	27. 12. 02	優先日 (B.月.年) 28	28. 12. 01
	国際特許分類 (IPC) Int. CI' A61K38/00, 45/00, A61P3/04, 3/06	A61K38/00.	45/00, A6	1P3/04, 3/0	

	これは、この国際予備審査機関が作成した。1 回目の見解毒である。	この見解審は、次の内容を含む。 1   X 見解の基礎	11 ( ) 優先権	(人) が双位、望少性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成 IV [] 発明の単一性の欠如	V [X] 注第13条 (PCT規則66.2(a)(ii)) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解 、それを異付けるための文献及び説明	N (二) ある種の引用文献 N (二) 国数出題の不確	M	顧人は,	ように?		の非公式の連絡については、PCT規則66.6を参展すること。 応答がないときは、国際予価等重報告は、この見解報に基づき作成される。	国際予備審查報告作成の最終期限は、PCT規則69.2の規定により 28.04.04 である
	.,	2.	- E	2	>	5 B	5	جندته ع به <u>∓</u>	9 8	7. St. 2.	い谷が	
L		- 2					_(	-	 			4.
								OXXV				

名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) - 「 鄭徳毎月100-8915	特許庁審査官(権限のある職員) 岩下 直人	4C 984
東京都千代田区龍が関三丁目 4 番 3 号	<b>乾話番身 03-3581-1101 内</b>	MA 3451

4C 9841

様式PCT/IPEA/408(装紙)(1998年7月)

(硫付用紙の注意書きを参照)

ı		見解告	国際出願番号	国際出版哲學 PCT/JP02/13	
	見解の基礎				
æ	この見解毎日に提出された	この見解審は下記の出頭書類に基づいて作成された。(法第6条 (PCT14条)の規定に基づく命令18代提出された差替え用紙は、この見解癖において「出顧時」とする。)	* (PCT14	条)の規定に陥るく合合は	
$\times$	X 出願時の国際出願審類	際出風音類			
	明 中華	(2) マース	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求費と3	出版時に提出されたもの 国際予備整査の胡米苺と共に提出されたもの 付の摩점と共に提出	

出顧時に設出されたもの 国際予備審査の請求者と共に協出されたもの 村の協商と共に認出	出館時に提出されたもの P C T 19条の規定に基づき値正されたもの 国際予備審査の即求を上共に提出されたもの (100条所に上に起	出版時に提出されたもの 国際予御審査の辞求書と共に提出されたもの (付の書館と共に扱い	出願時に提出されたもの 国数予値審査の請求書と共に提出されたもの
% % % 	<b>EX EX EX</b>	図	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
筑筑筑	预游路额	策策策	対数数数ののの
是	競状の範囲 離状の範囲 器状の範囲 器状の範囲 競状の範囲	図図図図	明細音の配列表の部分 第 明細音の配列表の部分 第 明細書の配列表の部分 第

月本年以内

出廊時に提出されたもの	出廊時に設出されたもの
国際予値券至の請求者と共に提出されたもの	国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
「1の時節と共に扱い	「中の書層と共に部刊
A	<b>田春の配列表の部分 第                                   </b>

出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの 「日の書店と共に提出されたもの	上記の出題書類の書語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の書語である。
発 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	下配に示す場合を除くほか、
」 労用者の配列表の部分 第 明相管の配列表の部分 第 明相管の配列表の部分 第 明相管の配列表の部分 第	上記の出願書類の官語は、

5.

欧田薬品工業株式会社

出願人 (氏名又は名称)

節である。	. 1(b) にいう翻
5.5	国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻
上記の沓類は、下記の官語である。	そのために提出さ
上配の審類は、	国際競技の

8文の官語

□ r C 1 規則48.3(b)にいう国際公開の倉膳	」国際子倫審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻収文の書稿
](	

<b>次の配列表に基づき見解審を作成した。</b>
「ミノ敵配列を含んでおり、)
ヌクレオチド又はアミ
この国際出願は、
・ この国際出願は、ヌン

いた。というないは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	□ この国際出願に含まれる春面による配列表	□ この国際出版と共に提出された母気ディスクによる配列表	山岡後に、この国際子館帯査(または関本)健園に際田された韓国による名の第	[一] 出版後に、この国際子館審査(または関査)機関に提出された場合ディスクに、この国際子館審査(または関査)機関に提出された場合ディスクに、この政策	出版後に提出した書面による配列表が出版時における国際出版の開示の統領をおする当の代表	あの部田があった ● 世記 こ、 ロシュー	<ul><li>一番回による配列炎に配載した配列と磁気ディスクによる配列表に配数した配列が同一である旨の確認:</li><li>まもしま。</li></ul>	1.80/L
			_'			-		

)     	
り、下記の審類が削除された。第二第二	
着記により、 四野音像	: : :

	アンジード	
, , , ,		
	図面の第	
無	図	
請求の範囲	园	
		£

5. 📋 この見解癖は、袖充癖に示したように、袖正が出顧時における開示の範囲を越えてされたものと認められ その袖正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

様式PCT/!PEA/408 (第1種) (1998年7月)

	見解数	国際山廟番号 PCT/JP02/13781
<u>=</u>	新規性、連歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成	作成
	次に関して、当体静求の範囲に記載されている発明の新規性、遵歩性叉は産業上の利用可能性につき、 審査しない。	進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の項由により
Ш	] 国際出願全体	. 2
$ \mathbf{x} $	X   請求の範囲 2.2	
田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	::	
×	<ul> <li>この国際出願Xは請求の範囲</li> <li>2.2.</li> <li>次の事項を内容としている (具体的に配慮すること).</li> <li>請求の範囲 2.2 は手術または治療による人体の処置方法を包含するものであるので、PCT第34条(4)(a)(i)及びPCT規則67.1(iv)の規定により、この国際予備審査制関が予備審査することを要しない対象に係るものである。</li> </ul>	は、回駒子伽等金をすることを要しない、体の処置方法を包含するものであるのiv)の規定により、この国際予備審査機るものである。
	<b>労却書、請求の範囲者しくは図而(次に示す部分)又は請求の範囲 記載が、不明確であるため、見解を示すことができない(具体的に記載すること)</b>	範囲 的に配像すること)。
	全部の請求の範囲又は請求の範囲 英付けを欠くため、見解を示すことができない。	が、別細座による十分な・
$\boxtimes$	請求の範囲 2.2	について、国際調査報告が作成されていない。
	ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表が実施細則の財属書C ガイドライン) に定める基準を満たしていないので、見解	(塩基配列又はアミノ酸配列を含む明細事等の作成のための おを作成することができない。
	<ul><li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	たしていない。
	<ul><li>□ 磁気ディスクによる配列表が提出されていない又は所定の基準を満たしていない。</li></ul>	基準を満たしていない。

機式PCT/1PEA/408 (第Ⅲ幅) (1998年7月)

TOTAL STATE STATE OF THE STATE

	児素物	国際出版番号 PCT/JP02/137
>	が現代、連歩性又は商業上の利用可能性についての法第13条 (PCT規則66.2(a)(ji)に定める見解、- る文献及び説別	3条 (PCT規則66.2(a)(ii)に定める見解、
	見解	
	が投存(N) 語外の	請求の範囲 2.1 請求の範囲 <u>1-20,23</u>
	過歩性(13) 神光の範囲 神光の範囲	請求の範囲 請求の範囲 <u>1-21,23</u>
	商業上の利用可能性(IA) 請求の範囲 請求の範囲	群状の範囲 1-21,23
l		

## 文献及び説明

文献 1. WO 01/98494 A1 (TAKEDA CHEMICAL INDUSTRIES, LT文献 2. JP 9-121865 A (武田薬品工業株式会社) 国際調査報告において以下の文献が示された。

文献1には、請求の範囲に記載の配列番号:4,16のアミノ酸配列と同ミノ酸配列が記載されており(文献1配列表配列番号4,16を参照)、ま求の範囲に記載の配列番号:149のアミノ酸配列と1つのアミノ酸残基の なるアミノ酸配列についても記載されている(文献1配列表配列番号98を照)。そして、上記ポリペプチドがGPR8を介して作用し、肥満症などの治療に使用されうる旨についても記載されている。

請求の範囲1-20,23に記載の発明は、新規性及び進歩性を有しない

文献2には、請求の範囲に記載の配列番号:126,138,144のア 配列と部分的に同一のアミノ酸配列が記載されており(文献1 図1及び図照)、また、これらのポリペプチドを使用してG蛋白質共役型レセプターにアゴニストやアンタゴニストのスクリーニングを行う旨についても記載され

文献1,文献2に記載のG蛋白質共役型レセプター蛋白又は部分ペプチドて、配満症などの予防・治療に使用されるアゴニストやアンタゴニストのス ニングを行うことは、当業者に自明の事項である。また、請求の範囲に<mark>記載</mark> とすることにより格別の効果が生じるものとも認められない。 請求の範囲21に記載の発明は進歩性を有しない。

請求の範囲1-21,23に記載の発明は産業上の利用可能性を有する。

様式PCT/1PEA/408 (第V艦) (1998年7月)

答弁事及び手殻補正費は、特許協力条約に基づく国際出願等に関する法律施行規則第62条(領式第23)及び同規別第31条(録式15)に従って作成して下さい。

| IN THE CANDAR & URB 1 on R 2 for DAR 2 kL, WHINDS A LABOR SELL W

A FLOOR SERVENCE TO TO THE TOTAL TO THE TOTA